

市民の手による企画展「思い出の20世紀展」をご覧になりましたでしょうか。

博物館で公募しましたふるさと調査員や博物館協力会員が、企画から資料収集、飾り付けまで悪戦苦闘しながらも一貫して取り組み、手作りのすばらしい展示会となりました。

20世紀も本年1年を残すのみとなりましたが、今世紀は一体どのような時代であったのか。おじいちゃん、おばあちゃんはどのような生活をしてきたのか。ご家族でご観覧いただき、語り合う機会としてみてはいかがでしょうか。

現在は、前期「都留のまつり—八朔祭—・風俗・織物」をテーマに、八朔祭の田町の屋台に飾られた神宮皇后像や、なつかしい諸道具、織物、写真館スタジオ風景、貴重なカメラ(マニア必見です)などが展示されています。

後期22日(土)からは、「都留の教育・戦争」をテーマとした展示となります。

会 期 2月20日(日)まで

—会期中、展示替えがあります—

前 期 1月16日(日)まで

テーマ <都留のまつり—八朔祭—・風俗・織物>

後 期 1月22日(土)~2月20日(日)

テーマ <都留の教育・戦争>

開館時間 午前9時から午後4時30分(入館は4時まで)

1 月 の 1 日 ~ 5 日 ・ 11 日 ・ 12 日

休 館 日 17 日 ・ 18 日 ・ 24 日 ・ 31 日

入館料金 一 般 300円(210円)

高校・大学生 200円(140円)

小・中学生 100円(70円)

()内は、20名以上の団体料金

念記式校開校学小尋常高専刊告



<都留の教育>

市内小・中学校校舎の移り変わりや、卒業写真などなつかしい写真の数々、昔の教科書などが展示されます。おじいちゃん、おばあちゃんはどのような教科書で勉強していたのでしょうか。

また、学校はどのような様子だったのでしょうか。

※展示されている何れかの写真に心当たりがありましたら、博物館にご一報くださいますようお願いいたします。

◀谷村尋常高等小学校
開校式記念
(大正4年4月23日)

保寿院境内アツツ観音像▶



<都留の戦争>

平和の尊さを考えるとともに、今回、保寿院(四日市場)境内に建立されているアツツ観音像に祀られるアツツ島で戦死した山崎保代守備隊長の遺言状などが、ご遺族のご厚意により展示できることとなりました。

また、太平洋戦争の開始を告げた有名な電文、戦艦「長門」から打電された《新高山登レ1208》や、映画のタイトルにもなった空母「赤城」から打電された《奇襲成功セリ0322暗号略伝トラ・トラ・トラ》の原文の写しも歴史的資料として公開できることとなりました。

冬休み子どもふるさと教室開催

開催中の「思い出の20世紀展」展示の中に、貴重な写真機(カメラ)が出品されています。これらのカメラの原点ともいえる《ピンホールカメラ》をみんなで作ってみよう。作ってのぞくと、のぞいたものが反対に写って見える、不思議なカメラ!参加は誰でも自由。寒いけど、がんばって作れば楽しいよ!

日 時 1月9日(日) 午後1時30分~

場 所 ミュージアム都留 研修室

※参加希望の方は、ミュージアム都留までご連絡ください。